

留学先：The University of Findlay

氏名：近藤 芙実歩

みなさんこんにちは。フィンドレーでは気温が氷点下を下回ることも多くなってきました。福井では感じる事のない寒さに、心が折れそうになることもあります。この寒さを乗り越えれば怖いものなしだと自分に言い聞かせながらいつも通り楽しく過ごしております。さて、秋学期最後の報告書となる今回は、期末試験、課外活動、冬休み前半の3点について触れていこうと思います。

● 期末試験

アメリカの期末試験は、想像以上に過酷でした。テスト期間自体は、学期末の4日間と公には決まっていますが、先生によってはその一週間前に期末レポートの締め切りを設ける場合もあったので、実質2週間の長期戦となりました。私は筆記テスト1つ、プレゼンテーション3つにレポートが2つでした。中でも一番大変だったのが、教育の授業のレポートで、気づいたら10枚以上書いていました。この2週間のうちに2回ほど徹夜をするなど、不規則な生活になってしまいましたが、無事、後悔なくすべてを終えることが出来ました。振り返ると、どの授業も人との出会いと学びに溢れたものばかりでした。自分の苦手分野に直面することもありましたが、その時に頼れるクラスメート、チューター、そして先生がいて、本当に恵まれた環境で勉学に励むことが出来た秋学期だったなと思います。

● 課外活動

✓ お別れ会

12月前半は期末試験に追われつつも、イベントの機会がいくつかありました。中でも印象に残っているのは、日本から秋学期だけ留学に来ていた学生たちのお別れ会です。彼らとの出会いもフィンドレーでのかけがえのない出会いの一つだったので、半年でも濃い時間を共に過ごした仲間たちとの別れは現実味がなく、別れた今やと寂しさが込み上げてきました。彼らのほとんどはスピーチの中で、1年間留学したかったと心からの悔しさを打ち明けていました。その言葉を聞き、改めて1年間留学できていることのありがたみにと気が引き締められました。

✓ 福井プレゼンテーション



また、そのお別れ会の後には、福井についてのプレゼンテーションを設けていただき、福井県からの奨学生である岡崎さんと協力して、岡崎さんは福井県について、私は福井大学についてプレゼンテーションをしました。これまで福井大学で出会った留学生の友達に福井大学での留學生活の感想を尋ね、そこで彼らが教えてくれた経験をプレゼンテーションで紹介しました。また、私が

していた語学センターでの活動にも触れ、留学生が活躍する場所があるということも話しました。プレゼンテーション後には何人かの日本語学科の学生から、福井大学についてもっと詳しく知りたいと質問を受けました。少しでもより多くの学生が福井大学での留学に興味を持ってもらえるよう、これからも少しずつPRしていけたらと思います。

- 冬休み前半

期末テスト期間が終わりに向かうにつれ、キャンパス内は人気がまばらになっていきました。私が冬休みの旅行に出かける時にはもう、家の中には誰もおらず、キャンパスも静まり返っていました。お互いに **Merry Christmas!** と言って別れていく様子に、いよいよ本場のクリスマスが味わえるのだなと胸が高鳴りました。しかし同時に、前期が終わってしまったのだなという寂しさも少し感じました。

- ✓ 本場のクリスマス

冬休み前半は西海岸縦断とニューヨークでの年越しという計画でした。西海岸はカリフォルニアロサンゼルスとサンフランシスコ、そしてポートランドにいる友達を尋ねました。なかでもポートランドでは友達のホストファミリーの家にステイさせていただいたのが、ちょうどクリスマス当日をまたいでいたということもあり印象に残っています。子どもたちが、朝一番にプレゼントを興奮気味に開けていく様子、ほとんどの店が閉まっていたり、クリスマスの豪華なディナーを楽しんでゆっくり語り合ったりと日本のクリスマスとは全く違った1日を味わえました。素晴らしいホストファミリーと出会えたこと、そこで頑張る私の友達を見ることができたことも良き思い出です。

- ✓ 人種のサラダボール

ニューヨークはとにかく歩いて各エリアの雰囲気を楽しむことが目的でした。特にセントラルパーク、ハーレム、イーストハーレムを歩いて巡ったのがとても面白かったです。セントラルパークの大きさを体感し、通りを超えると人種の比率が変わっていくハーレムとイーストハーレムに驚き、聞くもの見るものが全て刺激的で、まさしく「人種のサラダボール」でした。またブロードウェイに初めて行き、「Kinky Boots」という以前からみてみたいと思った作品を楽しみました。圧巻の歌唱力と踊り、演技で終始鳥肌が立っていました。また、人種と性という触れにくい題材をユーモアを交えながら表現しているストーリーにも感動しました。また、会場全体が楽しいシーンでは歌に乗り、悲しいシーンではしみりするなど、特別な一体感も体感出来ました。



いよいよ留学も後半戦に差し掛かりました。後期は寒さと戦いながら、さらにもう少し、いろんな面で自分を追い込んでみようと思います。体調管理に気を付けつつ、精進していきたいです。